

# 山雲水月

発行責任者 龍源寺 住職 渡辺龍道

去る7月23日（火）から24日（水）の1泊2日に亘って、「第21回子供禅の集い」（龍源寺・仁叟寺共催）が開催されました。関係者各位の協力の下、今年も21回目を参

## 第21回子供禅の集い報告

加者31名を迎え無事終了いたしました。

小学校2年から6年まで、地域は高崎から吉井など様々なところから31名もの参加があり朝夕の坐

さむ禅や作務（掃除）、法話といったお寺での修行生活を体験。また、夜は楽しい度胸試しや花火大会などが行われました。

ほか、仁叟寺檀家総代、金子明氏による毎年恒例の粘土細工講座も開かれ、子供達は粘土でお地蔵さんなどを作製。夏休みの中で印象深い思い出が作れたのではないのでしょうか。

同行事は来年も開催予定。規律正しい生活の中であって、自然と禅に親しむこの企画。奮ってのご参加、お待ちいたしております。

**平成14年  
龍源寺年間行事予定**

1/1 年頭祈禱  
1/3～1/4 年始挨拶  
※2/3 節分会  
※2/15 涅槃会  
3/18～3/24 春彼岸  
3/23 蚕影山大祭  
※4/8 花祭り  
4月末 大施食会法要  
7/12～7/16 県外檀信徒棚経  
※7/23～7/24 子供禅の集い  
8/13～8/16 お盆  
9/20～9/26 秋彼岸  
※12/8 成道会  
※12/31 除夜祭  
※毎週土・日曜日 書道教室  
※毎週水曜日 定期坐禅会  
※隔週水曜日 梅花講稽古・華道教室  
※は本寺仁叟寺にて開催



上毛新聞（七月二十七日付）より

**第21回仁叟寺龍源寺  
子供禅の集い寄付単**

工作用粘土及び工作指導  
金子明  
花火代 東京精密管(株)  
同 タルヤ建設(株)  
同 (株)放光  
保険代 庭田保険事務所  
スイカ沢山 吉田宇四郎

どうもありがとうございました。  
(順不同、敬称略)

**定期坐禅会  
参加者募集中！**

毎週水曜日午後7時から8時迄。於、仁叟寺坐禅堂。年齢性別宗派等は一切問いません。住職が初心者から指導いたします。是非、ご参加下さい。お問い合わせは、当寺まで。

(TEL) 027-387-5859  
(FAX) 027-387-5859  
(e-mail)

## 初彼岸会法要



お墓参り

秋彼岸会 (9/20～9/26) の中日に当たる 9/23 (月、秋分の日) に当寺としては初めての初彼岸会法要を実施

なられた方が初めて迎えられる彼岸会にちなみ供養を行うのが、この初彼岸会法要。参加された各家の方々は法要後に墓参をし、そとうば こんりゅう 卒塔婆を建立して故人が初めて迎える彼岸会に手を合わせていました。次回の初彼岸会法要は春彼岸 (3/18～3/24) の中日を行う予定。なお、該当檀信徒各家におかれましては、通知ハガキが届きます。ご了承ください。

いたしました。中陰明け (49日明け) で仏様に

## 龍源寺探索-2-

創刊号から始まったシリーズ記事「龍源寺探索」。第1回目より時間が経過しましたが、再開です。

今回は、当寺位牌堂奥に祀られている二十二夜様です。昭和40年代まで二十二夜講がここ多胡地区では続いており、その時に使われていた掛軸です。二十二夜様信仰は、江戸期に盛んになった女性専用の講です。女性の数少ない娯楽の一つということで、その集落の女性が集まり夜を通して話し合ったそうです。本堂に入ることがあれば、ご覧になってくださ



位牌堂に祀られている 二十二夜尊画幅



新たに設置された オリエンテーリングの標識

## オリエンテーリング標識設置

オリエンテーリング (以下 略、OL) とは、地図とコンパスを頼りに地図上に記されたコントロール (標識、チェックポイント) を回ってくる北欧発祥のスポーツです。

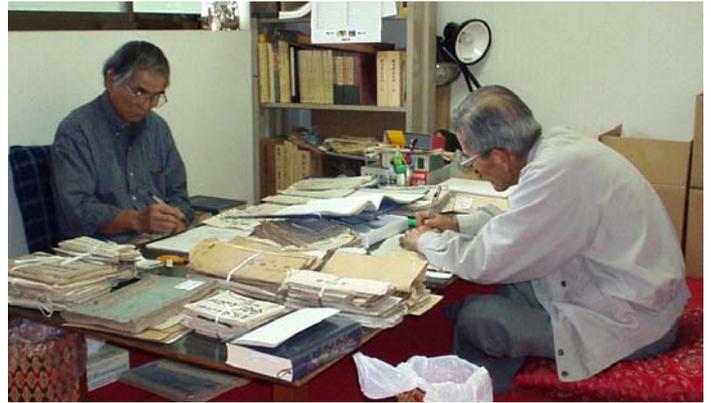
そのOLのチェックポイント (標識) が、この度、当寺の 駐車場に新たに設置されました。また、当寺は群馬県オリエンテーリングの吉井地区のコースに本寺の仁叟寺 (神保) と共に指定されています。スポーツの秋ということで、自然を身近に感じられるOLを散歩がてらに行ってみてはいかがでしょうか？

## 仁叟寺通信3

仁叟寺寺史編纂室では現在、古文書の解読作業が進められています。古文書は吉井町の史跡にも指定されており、古いモノでは1496年（戦国時代）の文書も現存しております。

その膨大な量の古文書を1つ1つ解読し、時代別などに整理し、目録台帳に登録するといった地道で根気の要る作業が、小林譲、長谷川寛見両委員によって行われております。

古文書の解読作業は寺史のみならず歴史書の編纂にあたり、避けては通ることが出来ない骨の折れる作業です。両委員は毎週火曜に来寺さ



作業を行う小林、長谷川両委員

れ黙々とその作業を行っております。この、古文書の解読を通じ、当寺だけでなく地域に於ける新たな歴史的な発見などがあるかも知れません。

紙面を借り、両委員に改めて謝意を申し上げます。

## 57年振りの同窓会

去る5月12日（日）の正午より、第1回 がくどうそかい 仁叟寺学童疎開児童同窓会が行われました。元学童が一同に集まるのは57年振りということです。

今回は当時交流もあったという吉井国民学校の学童も参加してくださり、総勢約20人が旧交を温め合いました。また、上毛新聞や朝日新聞にも掲載され、その記事を見た方よりお土産にと水沢うどんを頂いたりしました。

学童達は第二次大戦中末期の昭和18年以降に疎開をして来ました。東京都北区王子

いわぶちの岩淵第二国民学校

やなぎだと柳田国民学校（

くうしゅう空襲により廃校、戦後再開）の2校の学童。吉井町では他

おんぎょうじに、法林寺や恩行寺などに疎開をしていたそうです。



上毛新聞社会面(5/9付)より

この度の同窓会は仁叟寺史編纂作業中に見つかった『仁叟寺学寮記念文集』が発端。参加者は先ず本尊様にご挨拶の法要をし、境内を散策したり食事をし、また文集を読みながら当時の事に思いを馳

せ、和やかな一時を過ごしました。

## 消火器設置

消防法などで定められた建築基準により、当寺では消火器を3基購入。赤色で目立つ、専用のBOXの中に消火器が入っています。それぞれ、本堂・長屋門会館・庫裏に設置いたしました。願わくは、この消火器、使用する機会がないようにあります。

長屋門会館に設置された消火器



じょやえ

## 除夜会について

今年も恒例の仁叟寺除夜会そして節分会が近づいてまいりました。当日は除夜の鐘をはじめ「大晦日坐禅会」「大お焚き上げ」「新年祈禱」などの企画や多数の露天で境内は賑わいます。また、甘酒や切り焼き餅なども振舞う予定。ほか、昨年好評を博した胡弓などの演奏会なども開催予定。是非、ご家族や友人知人などお誘い合わせの上、本寺仁叟寺までお越し下さい。



除夜の鐘

い

さて、今回は除夜の鐘の謎について。なぜ百八回鐘を撞くのでしょうか？答えは以下。

百八の煩惱というのは、こう説明されます。人間の感覚を司る眼(げん)耳(じ)鼻(び)舌(ぜつ)身

(しん)意(い)の六つ(これを六根と呼びます)が、それぞれに好(気持ち)がよい)悪(不快)平(どちらでもない)の三種があって $3 \times 6 = 18$ の煩惱となり、これが、また浄(きれい)染(きたない)の二種に分かれ $18 \times 2 = 36$ の煩惱になり、さらに、過去、現在、未来の三つの時間が関わって、 $36 \times 3 = 108$ となります。これが、百八の煩惱だということです。これを鐘の音が浄めていくということです。日本では、鐘や鈴の音に浄化作用があるというのは古くから信じられていました。秋の虫の代表である鈴虫を日本人が昔から愛でるのも、ここにその理由があるのかも知れませんね。



仁叟寺鐘樓堂  
(吉井町重要文化財)

## 行雲流水(編集後記)

編集人 住職 渡辺龍道

例年に比べ暑かった夏も終わり、境内では虫の音が秋を告げています。平成14年最後の龍源寺報「山雲水月」第4号(秋号)、をお届けいたします。

さて、紙面でも紹介した通り、現在「仁叟寺史編纂室」の活動が大変盛り上がっております。編纂委員の方々も、いい寺史を作るという気概の下、日々精進を重ねております。こ

の秋には編纂室主催で当寺に縁のあるご寺院3ヶ寺の研修参拝旅行も企画。実りのある取材を行いたいと考えております。寺史の編纂は大変時間がかかる根気のいる作業です。筆者も微力ながら最善を尽くしたいと思います。

